

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス じゃんぷ		公表日	2026年 2月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・十分に広いスペースがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・[ ]の部屋[ ]の部屋と名称をつけたり、椅子や玩具の置き場など分かりやすくしている。また、段差のない作りをしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・広くて過ごしやすい反面、走り出してしまうため、区切り（牛乳パックの棚、ホワイトボードでの壁など）がもっとあってもよいのかなと思う。 ・毎日清掃・消毒を行っている。 ・手の届きやすい場所に常に消毒液を設置している。 ・室温湿度は常に快適に整うようにしている。また、玩具の消毒も欠かさない。	・感染防止に努めながら今後も継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・場面に応じて、適宜落ち着いた空間を使うことができている。 ・疲れ、体調を見て個別での休息をとれる場所がある。	・今後も継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・全員で話す機会を設けている。 ・4つのプロセスを順に繰り返し、業務改善、品質向上に努めている。	・児童の様子などについては毎朝細かく打合せを行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・アンケートを配付し、家族からの要望など共有している。 ・アンケートをお願いし、よりよい業務を心掛けている。	・今回の結果を改善に活かしていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・打ち合わせや事例検討会の際に話し合える場を設けている。 ・朝の打合せで意見交換されている。 ・毎日の打合せまた月曜日の会議には話し合いの時間を設けている。	・今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%		・外部評価は実施していませんが状況に応じて今後は検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・職場内で事例検討会を行ったり、研修会へ参加したりしている。 ・外部研修参加や研修内容報告など適宜行われている。 ・研修にはそれぞれが積極的に参加している。	・ケース検討（支援方法の検討会議等）を実施しています。また可能な限り外部研修にも参加しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・日ごとに、毎日の療育スケジュールを作り、保護者に渡している。	・今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・朝の打合せなどで適宜行われている。	・職員全員の意見を踏まえて作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・子供の様子や目標達成の程度などについて、話し合う機会を設けている。	・職員全員の意見を踏まえて作成しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・エピソード等、常に共有できている。 ・かならず全員が目を通すようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・他機関の意見や家族の意見をすり合わせ、今後の見通しを立てている。	・活動記録を行う上で工夫し長r取組んでいます。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		・職員全員の意見を踏まえて作成しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・複数人で立案している。 ・適宜職員間で意見交換されている。 ・季節の製作や名前なぞりなど、子どもに合った活動をしている。	・月ごとの支援目標に沿って活動プログラムを作成しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・毎月、プログラム内容を計画している。 ・適宜職員間で意見交換されている。	・季節に応じた活動を取り入れながら固定化しないように努めています。また職員育成を図り安定した活動ができるように努めています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・人が少ない午前中は個別、増える午後は集団など、日に合わせて内容を変更している。 ・同じ活動でも子どものレイダネスに合わせて内容を少しずつ変えている。 ・子どもの得意な面、苦手な面など考慮しながら見通しを立てている。 ・午前・午後、必ず1回は集団で行っている。	・個別、集団支援を組合せながら個々の内容に沿った支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・毎日朝の打合せをして確認している。当日の活動計画を随時確認しながら支援している。	・毎朝必ず打合せを行います。職員の育成を図り安定した活動ができるように努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・当日に話し合うことその他、翌日の朝の打合せでも話し合って共有している。	・基本的には翌朝行いますが必要に応じて支援終了後に行うことがあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・毎日記録をしている。他スタッフと共有しながら記録している。 ・日々の記録は残っており支援に生かされている。 ・記録をとれない（送迎等）職員もいるための確かな記録を心がけ全員で共有していると思う。	・写真や動画を基に検証しています。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・朝の打合せでの話し合い等を基に、定期的に行っている。	・職員全員の意見を踏まえて作成しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・事業所がわに判断付かない場合など、適宜意見を聞いている。	・今後も密に関わりながら利用児の成長に繋がっていかれるように努めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・就学に向けて支援を行っている。園や他のデイ、学童等の利用も促している。 ・意見交換など積極的に行っている。	・保護者の意向を踏まえながら互いに見学の場を設けたり、情報提供書を提出しながら利用児の成長に繋がるよう努めています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		・保護者の意向を踏まえながら適宜行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	80%	20%			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	60%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園や外出時に会うことがある。</li> <li>公営の児童館などに訪問した際に交流することがある。</li> </ul>	・積極的な交流は行っていませんが公共施設などを通し触れ合う機会を設けています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭やノートで共有できている。</li> <li>送迎時やノート、電話連絡を通じて対話している。</li> <li>連絡ノートや降所時に1日の様子を伝えてい</li> </ul>	・相談しやすい環境を心がけています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会のチラシ等を配付、または掲示している。また、保護者の相談に対してアドバイスしている。</li> <li>他機関のイベントなどの案内等配付することがある。</li> </ul>	・保護者に寄り添いながら問題解決に繋がるよう支援します。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・適宜行っている。	・職員全員の意見を踏まえて作成しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>対面で話すだけでなく、ノートでも相談に応じている。</li> <li>面談の機会を設けて、相談・話し合いの内容について支援に生かしている。</li> <li>定期的だけでなく、適宜行っている。</li> </ul>	・全職員が保護者のSOSを見逃さないように心がけています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会は行っていないが、必要に応じて互いに情報交換できるよう準備している。</li> <li>感染症によって機会が減っているが、参観の計画を立てている。</li> </ul>	・保護者の負担を避けるため保護者会の結成は行っていません。療育参観等で保護者間の交流が図れるよう努めています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時や電話などですぐに対応している。</li> <li>都度、相談等に応じている。</li> <li>利用時間の調節(朝から、昼からなど)や利用の相談に臨機応変に対応している。</li> <li>先延ばしせず常に適切な対応が行われている。</li> </ul>	・相談しやすい環境づくりを心がけています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回の通信を発行し、活動の計画や様子等を知らせている。</li> </ul>	・日頃の療育の内容等をわかりやすく伝えられるように心がけながら、ホームページ等の活用についても検討していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>来客の目にも配慮し、掲示物についても気を付けている。</li> <li>来客の際には個人情報の物は必ず伏せたり目につかないところに置く。</li> </ul>	・今後も継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭だけでなく、改めてノートに記載する等配慮ができています。</li> <li>言葉だけでなく、身振りや2択等の選択などを行っている。</li> </ul>	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		・地域の方々とはとても好意的に受け入れてられています。状況に応じて検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の目にも届くところに掲示している。</li> </ul>	・事前にマニュアルを確認した上で避難訓練を実施しています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練を行っている。(水害、火災、地震)</li> <li>避難訓練を年3回行い、地震、浸水、火災のそれぞれに沿った訓練を行う。</li> </ul>	・事前にマニュアルを確認した上で避難訓練を実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>各利用者の食物アレルギーや救急対応について、分かりやすくまとめてある。</li> <li>薬の有無、量など変更があった際伝え合っている。</li> </ul>	・保護者、学校等と相互に確認できるよう工夫しています。またICTを活用し迅速に情報共有できるようにしています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>卵、牛乳、ピーナツなどアレルギーのある子を掲示している。</li> <li>アレルギー児に関しては職員がいつでも見ることができるよう表記しキッチンに張り付けている。</li> </ul>	・職員相互で確認するよう工夫しています。またマニュアル作成の上、万が一の備えも行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		・緊急時に備えた対応をマニュアル化しています。

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		・緊急時に備えた対応をマニュアル化しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・都度、ヒヤリハットについて情報を共有するとともに、用紙に記入し回覧を行っている。 ・ヒヤリハットとした重大事故、災害には至らなかったものの直結しかねないと思われる事象の際には必ず話し合いを設けている。	・事業所内研修などに用いながら再発防止に努めています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・研修後は全職員に報告時間を設けて研修内容を伝授している。	・虐待防止研修のほか、日々の業務打合せ、報道も含め内容を共有の上、日々意識を高めるように努めています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	・身体拘束を行うことはない。	・現在までに実施例はありません。